資料１

02

川西市地域分権推進事業　ニュースレター

第2回地域夢・未来カフェ in 多田東

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、第１回に引き続き、「第２回地域夢・未来カフェ in 多田東」が開催されました。

日時：2013 年 1 月 20 日（日）10:00～12:00
場所：多田東会館
参加人数：市民 25 名＋市WGメンバー３名

当日のスケジュール

10:00　開会
10:05　地域分権制度の論点について
10:15　スケジュール説明・ふりかえり・チーム分け
10:25　イントロ（川西クイズ）
10:30　テーブルワークの説明・事例紹介
10:35　テーブルワーク（活動案の検討）
12:00　閉会

スケジュール説明～チーム分け

当日スケジュールの説明と第１回カフェのふりかえりがあった後、今回から具体的に活動案を検討していくため、昨年の懇談会の内容を共有した結果について説明がありました。子育て支援や、地域のつながりや交流に関しては、課題と取組ともに高い関心があることや、地域活動（自治会など）に関するものは課題で、災害に強い安心・安全なまちに関するものは取組で高い関心があることがわかりました。そのような傾向から、地域活動や地域交流について２つ、子育て支援について１つ、安心・安全なまちづくりについて１つの計４つのテーマについて話し合っていくことが決まりました。その後、参加者は話し合ってみたいテーマのテーブルにそれぞれ移動しました。テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、多田東小地域の状況に関するクイズが３問出題されました。

前回の共有結果から分析した傾向

●子育て支援に関するものは、課題と取組ともに重要度が高くなっている
●地域活動（自治会など）に関するものは、課題と取組ともに重要度が高くなっている
●地域のつながりや交流に関するものは、取組で重要度が高くなっている
●防犯や防災など、安心・安全に関するものは、課題で重要度が高くなっている

決定したテーマ

●Ａグループ：子育てしやすいまちにする
●Ｂグループ：地域活動が活発なまちにする
●Ｃグループ：誰もが交流できるまちにする
●Ｄグループ：安心・安全なまちにする

Aグループの取組例

◎子育てしやすいまちにする
⇒ 市民が先生になる放課後プログラムの実施
⇒ 子どもが気軽に寄れる居場所づくり
⇒ 公園を活かした子どもの遊び場づくり
⇒ 体験型イベントの開催　など

Bグループの取組例

◎地域活動が活性なまちにする
⇒ 自治会活動の加入率を上げる取組
⇒ 誰もが地域活動に参加したくなる方法
⇒ 若者への効果的な周知･PR
⇒ 新たな人材の発掘と育成　など

Cグループの取組例

◎誰もが交流できるまちにする
⇒ あいさつや声かけ運動をする
⇒ 地域の居場所づくり（コミュニティカフェ）
⇒ 新しい地域の祭りを開催する
⇒ 空きスペースを活用したイベント　など

Dグループの取組例

◎安心･安全なまちにする
⇒ 地域ぐるみの防犯活動
⇒ 防災や避難情報を普及させる取組
⇒ 地域防災マップの作成
⇒ 交通安全意識の向上　など

テーブルワーク

４グループに分かれたテーブルワークでは、まずファシリテーターから、それぞれのテーマに即したいくつかの事例紹介がありました。その後、各グループは活動メニューから検討をはじめ、メニューがある程度決まったグループは、活動をより具体的にする話し合いを進めました。どのグループも、閉会時間ギリギリまで活発な議論が行われました。

◎各グループの主な意見

Ａグループ：子育てしやすいまちにする

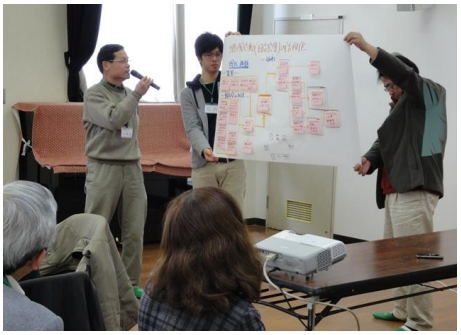
●**困りごと**…ボランティアの高齢化・つながりが少なくなっている・ボランティア、地域活動へのハードル
●**地域活動は多い**…市の子育て専用ブログ・市の広報・出前保育・とんどまつり・パパ講座・映画会
●**環境づくり**…孫と一緒に住んでいない人が多い・学校行事が多い・学校行事を地域の人が見られたらいい
●**3 世代交流**…伝承する人や機会が少ない・授業で昔遊びができれば・３世代交流の実施・地域で子育て
●**特徴的なプログラム**…オープンスクール・保育所のプレイルームの開放・地域に開いた学校づくり
●**ポイント**…広報手段の見直し・あらゆる世代を受け入れる体制づくり　など

Ｂグループ：地域活動（自治会等）の活発化

●**背景**…働いている人が多い・子どもが減って高齢者が増えている・転入してきた人は自治会には入らない
●**自治会の状況**…年をとればとるほど地域活動から離れる・マンションはサニーフラットだけ加入している
・自治会費が高いと言われる・非会員でも清掃だけは参加する人もいる
●**方向性**…自治会加入率のアップ・若い人が自治会に参加し、地域活動を受け継いでほしい
・多太神社のおみこしのかつぎ手がほしい・効果的なＰＲをするべき・高校生、大学生などを巻き込む　など

Ｃグループ：誰もが交流できるまちにする

●**現状**…カフェや気軽に入れる店が少ない・どう地域に興味をもってもらうか・参加しやすい情報発信
●**交流するための課題**…情報発信はお金がかかる・ひっぱってくれる人が必要・掲示板があまりない
●**目指すもの**…簡単・敷居が低い・若者が参加しやすい・できることから・何かひとつでも名物にしたい
●**プログラム例：日帰り旅行**…バス旅行・自治会に入ったら旅行に行けるようにする
●**プログラム例：路上 BBQ**…道路でなくても公園でも良い・交流の場・ガスコンロを持ち寄る
●**プログラム例：ハイタッチあいさつ**…きっかけづくり・すぐできて良い・お金や人がいなくてもできる　など

Ｄグループ：安心安全なまちにする

●**自主防災会**…地域住民の協力体制・既存組織の活用　●**情報伝達**…連絡体制が不備・避難時の情報伝達方法
●**訓練を楽しく→若い人も参加**…広域（コミュニティ）の防災訓練・小中高との連携
●**一人暮らしの高齢者**…救助方法をあらかじめ決めておく・みんなで支援・要援護者への支援者を決定する
●**自治会（会員）**…自治会員と非会員との情報伝達、意識の統一化が課題
●**一次避難**…公民館が一時避難所にならない場合もある・防災の一時避難所に掲示板を設置
●**自治体との連携・物資**…災害時にダイエー、イズミヤとの交渉、活用　など